科学的介護の実現

- 自立支援・重度化防止に向けて-

- 科学的に自立支援等の効果が裏付けられた介護を実現するため、**科学的分析に必要なデータを新たに** 収集し、世界に例のないデータベースをゼロから構築。
- データベースを分析し、科学的に自立支援等の効果が裏付けられたサービスを国民に提示。
- 2018 (平成30) 年度介護報酬改定から、自立支援に向けたインセンティブを検討。

高齢者個々人に関するデータ

高齢者の状態

従来取得して いたデータ

- 要介護認定情報
- 日常牛活動作 (ADL)
- 認知機能

新たに取得して いくデータ

- 身長、体重
- 血液検査
- 筋力、関節可動域
- 骨密度
- 開眼片脚起立時間
- 握力計測
- 心機能検査
- 肺機能検査

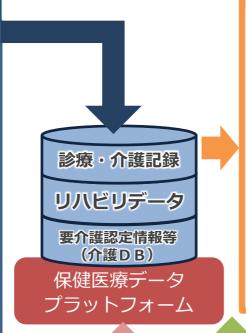
提供されたサービス

従来取得して いたデータ

• 介護サービスの種別

新たに取得して いくデータ

• 医療、リハビリテー ション、介護の具体 的なサービス内容



国立長寿医療研究センター等の研究機関を活用して、

科学的に自立支援等の効果が裏付けられたサービスの具体化

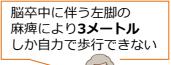
サービスが利用者の状態に与えた効果を分析。

科学的に自立支援等の効果が裏付けられた介護の具体像 を国民に提示。

(分析のイメージ)

サービス

提供前の状態



自力歩行が 20メートル可能 どのようなサービスが有効か

屋内で自由に 歩行が可能に

科学的に分析、提示

サービス 提供された 提供後の状態 サービス

杖を用いれば

科学的分析に必要な データを新たに収集

国民に対する見える化

介護報酬上の評価を用いて、科学的に効果が裏付けられた サービスを受けられる事業所を、厚生労働省のウェブサイ ト等において公表。